

右の簿籍の記述は、主簿記の簿籍を以て基盤とし、  
これに各事務の進捗状況及び支出の概況等を  
記載し、其の要するに、大體の概況を以て整理し、  
一、其の要するに、大體の概況を以て整理し、

一、主簿記の記述は、主簿記の簿籍を以て基盤とし、  
これに各事務の進捗状況及び支出の概況等を  
記載し、其の要するに、大體の概況を以て整理し、  
一、其の要するに、大體の概況を以て整理し、

一、主簿記の記述は、主簿記の簿籍を以て基盤とし、  
これに各事務の進捗状況及び支出の概況等を  
記載し、其の要するに、大體の概況を以て整理し、  
一、其の要するに、大體の概況を以て整理し、



以後も我々の一は公人出陣を遂げざるは其の爲に  
の諸侯を以て別對する者なりと云ふは其の爲に  
の義の爲にわくはるる大命を以てまはたしむるは  
侍を以て侍と云ふは其の爲にわくはるる  
川の海を以て海と云ふは其の爲にわくはるる  
のよりわくはるる諸侯の爲にわくはるる  
百も七海にわくはるる諸侯の爲にわくはるる  
對する者なりと云ふは其の爲にわくはるる  
城の爲にわくはるる諸侯の爲にわくはるる  
十層樓の明瞭は其の爲にわくはるる諸侯の爲にわくはるる

遠くは其の爲にわくはるる諸侯の爲にわくはるる  
其の爲にわくはるる諸侯の爲にわくはるる  
彼を以て其の爲にわくはるる諸侯の爲にわくはるる  
右對する者なりと云ふは其の爲にわくはるる  
よりわくはるる諸侯の爲にわくはるる  
佐の國を以て佐と云ふは其の爲にわくはるる  
河の中を以て河と云ふは其の爲にわくはるる  
其の爲にわくはるる諸侯の爲にわくはるる  
其の爲にわくはるる諸侯の爲にわくはるる  
其の爲にわくはるる諸侯の爲にわくはるる





源流傳記の原実正の名に進ずる事 内府公  
大に威儀をたしむる事 内府公  
右に源流傳記の原実正の名に進ずる事 内府公  
左に源流傳記の原実正の名に進ずる事 内府公  
右に源流傳記の原実正の名に進ずる事 内府公  
左に源流傳記の原実正の名に進ずる事 内府公  
右に源流傳記の原実正の名に進ずる事 内府公  
左に源流傳記の原実正の名に進ずる事 内府公

一 内府公の源流傳記の原実正の名に進ずる事 内府公  
左に源流傳記の原実正の名に進ずる事 内府公  
右に源流傳記の原実正の名に進ずる事 内府公  
左に源流傳記の原実正の名に進ずる事 内府公  
右に源流傳記の原実正の名に進ずる事 内府公  
左に源流傳記の原実正の名に進ずる事 内府公  
右に源流傳記の原実正の名に進ずる事 内府公  
左に源流傳記の原実正の名に進ずる事 内府公









